



# さわやか

第 69 号  
平成26年 3 月発行

神奈川県高等学校体育連盟広報誌

## 県高体連表彰式報告



日 時：平成26年 1 月24日（金） 14:00～  
 会 場：横浜市保土ヶ谷公会堂  
 受賞者数：優秀選手  
 団体の部 30団体（男子187名、女子66名）  
 個人の部 98名（男子 64名、女子34名）  
 三年連続優勝の部 団体12校、個人 7名  
 国際競技大会の部 個人16名  
 優秀監督 7名  
 体育功劳賞 33名  
 特別表彰 1校  
 特別功劳賞 1名

### 受賞者代表のこぼ

全国高校大会 文部科学大臣賞  
藤村 港平 選手（県大和高校ダンス部）



この度は、このような賞をいただき、たいへん嬉しく思います。また、このような場を受賞者代表として立てることに心から感謝したいと思います。

私は3年間、大和高等学校創作舞踊部の活動をする中で、多くのことを学び、経験してきました。

私は創作舞踊の魅力の一つは、人々に感動や喜びを与えることが出来る点にあると思っています。私たちも舞踊を観てくださる方々に、何かを感じてもらえるよう、舞踊作品のテーマ追求やスキルのレベル向上を目指して今まで練習してまいりました。

そうした日々の練習の中で、部員達の間には、強い信頼関係と絆を生みだすことが出来ました。時には練習が捗らないこともありましたが、誰かが怪我をしてしまうこともありましたが、しかし、私たちは仲間とともに支え合いながら、厳しい練習に耐え、全国大会優勝の目標を胸に日々、精進してまいりました。

そうした努力の末、昨年の夏に行われた全国大会において優勝し、文部科学大臣賞という素晴らしい賞をいただくことが出来ました。3年間、高校生活の全てを部活に捧げた最後の大会で最高の結果を残すことが出来たことをたいへん嬉しく思います。

こうした結果は、部活動に励む私たちを応援し、見守ってくれる両親や、私たちの力を信じ今まで指導して下さった先生方の支援があったおかげで、思う存分集中して取り組むことが出来たから残せたのだと思います。今まで私たちを支えて下さった、たくさんの方々へ心から感謝したいと思います。

将来、私たちが社会に出た時、高校時代にスポーツを通じて学んだことを積極的に活かしていきたいと思えます。それがお世話になった先生方や両親への最大の恩返しになると信じています。

本日は、栄えある賞をいただき、誠にありがとうございました。このような名誉に恥じぬよう、これからもスポーツマンとして、そして人として成長できるよう日々精進していきたいと思えます。ありがとうございました。

### 特別功劳賞

吉川 正保 先生（県住吉高校 教諭）

四半世紀という長い間務めさせていただきました。このような賞をいただいたことに、たいへん恐縮しています。

その長い間の中でも、たいへん貴重な経験をしてきました。そういった経験は色々な方々に支えられて出来たものです。先生方はもちろん生徒のみなさんに支えられてなんとかやっていくことが出来ました。その中でも一番お世話になったのは歴代続く県高体連事務局の方々のお陰だと思っております。ここに改めてお礼を申し上げます。

皆様には感謝の気持ちを持つことを忘れずに、これからも頑張っていたきたいと思っております。

本日はありがとうございました。



# 安全対策委員会

委員長 桃木 祥 (県平塚工科)

平成25年度も、神奈川県高等学校体育連盟表彰式に於いて、今年度の高校スポーツ界で目覚ましい活躍をされた生徒の皆さん、そして監督指導された素晴らしい先生方の成果が報告され、表彰が行われました。これもひとえに関係各高校顧問の先生方と専門部の先生方のご努力・ご尽力の結果であると思えます。

また、県立体育センターにて行われました県高校総体の開会式では、県立二俣川看護福祉高校の生徒の皆さんに、救護係補助員としてお手伝いいただきました。この場を借りまして、お礼申し上げます。

このように素晴らしい成果の陰で、今年度も傷病見舞金審査会へと数多くの障害が報告されており、このことを高校スポーツの指導者である我々は忘れてはならないことだと思います。

本委員会では、『本県高等学校生徒のスポーツ活動における安全教育を推進し、高等学校スポーツの健全なる発展を図ること』この目的達成のため、各種事業を通じて委員会の目標を実現すべく継続的に展開しております。

『赤十字救急法基礎講習・救急員養成講習会』は、本委員会発足以前から実施されている歴史のある事業です。本年度も学科に実技に検定にと非常にハードな日程でしたが、優秀な成績で検定に合格され、赤十字救急法救急員の資格を取得されました。

部活動時だけでなく、私達の身のまわりでは、思わぬ病気や交通事故、災害が多発するようになってきています。事故を未然に防止し、正しい応急手当の知識と技術を身につけ、実践できるようになることがこの講習会の目的です。

医科学サポート事業は、指導者研修会と加盟校巡回指導を実施いたしました。傷害の予防・栄養指導 復帰後のリハビリテーショントレーニング、さらには強化に繋がるトレーニングまでを含めた総合的な事業として位置付け、強化普及委員会とともに大きな期待をもって取り組んでいる事業であります。

指導者研修会は、加盟校顧問ならびに各種委員会委員の先生方を対象に、また加盟校巡回指導では、県内各高校にて、各種運動部の顧問の先生方および部員を対象に実施しております。講師には、医科学の分野やトレーニングの分野で活躍されている先生方を迎え、いづれも大きな成果が得られたものと確信しております。

以上簡単ではございますが、本委員会の活動報告とさせていただきます。加盟校の顧問の先生方ならびに各専門部の先生方には、引き続き競技力の向上と合わせて安全対策に更なるご協力とご尽力をいただきますようお願いいたします。

本年度は、次あげる事業を展開しました。

- 県高校総体開会式・救護  
4月20日(県立体育センター)
- 赤十字救急員資格取得講習会  
8月2・3・9・10日(県立スポーツ会館)

# 強化普及委員会

委員長 矢野 純 (県釜利谷)

## ◆第48回神奈川高校スポーツ強化普及振興協議会の実施要項◆

主催 神奈川県高等学校体育連盟  
後援 神奈川県教育委員会 (公財) 神奈川県体育協会  
期日 平成25年12月15日(日)  
会場 東海大学スポーツ教育センター

講師 有賀誠司先生(東海大学スポーツ医科学研究所 教授)  
高妻容一先生  
(東海大学体育学部競技スポーツ学科 教授)

花岡美智子先生  
(東海大学体育学部競技スポーツ学科 専任講師)  
実技講師及びアドバイザー  
東海大学スポーツサポートスタッフ

参加者 生徒 61名(男子49名 女子12名)

顧問 15名

協議題【高校スポーツ選手のための  
筋力トレーニングとコンディショニング】  
実技1 筋力トレーニングの基本種目のテクニック  
実技2 体幹のトレーニング  
実技3 ストレッチング  
実技4 メンタルトレーニング

日程 9:00～ 受付(15号館1階ロビー)  
9:30～ 開会式・オリエンテーション(トレーニングセンター)  
9:40～ 講義「筋肉トレーニングとコンディショニングの  
必要性と効果的な進め方」  
(トレーニングセンター)  
10:15～11:45 第1セッション(講習内容の2項目)  
11:45～12:45 昼食  
12:45～14:15 第2セッション(講習内容の2項目)  
14:30～16:00 第3セッション(講習内容の2項目)  
16:10～ 閉会式(トレーニングセンター)

### 講習内容と実施場所

1. 下半身トレーニング(トレーニングセンター地下1階)
2. 上半身トレーニング( " )
3. 体幹のトレーニング(フィットネスセンター 1階)
4. 体幹のエクササイズ( " )
5. ストレッチング(第1会議室4階)
6. メンタルトレーニング(第2会議室)

第48回神奈川高校スポーツ強化普及振興協議会は、12月15日(日)に東海大学湘南キャンパスにおいて、11校(生徒61名、引率顧問15名)が参加し開催された。協議会は今年で12回目となる東海大学スポーツ医科学研究所の有賀誠司教授による高校スポーツ選手のための筋力トレーニングと、同大学体育学部競技スポーツ学科の高妻容一教授のメンタルトレーニングをテーマとして、東海大学スポーツサポートスタッフによる実技の実演指導を仰ぎながら受講する形式で実施された。

9時30分からの開会式に続いての有賀教授による全体講義のあと、参加者は6つのグループに分かれ、途中昼休みを挟みながら、グループごとにそれぞれ3セッション6種目の講習を順番を変えて受講し、閉会式終了の16時30分まで有意義で充実した1日を過ごさせていただくことができた。

有賀先生、高妻先生、花岡先生、そして東海大学スポーツサポートスタッフの学生の皆さん、本当に素晴らしい機会を提供していただき、ありがとうございました。



「有賀先生の講義の様子」

### ◇当日のながれ◇

- 開会式
- 全体講義 有賀教授

講義題 「筋肉トレーニングとコンディショニングの必要性と効果的な進め方」

### 講義内容

- ・スポーツ選手にとっての心・技・体をバランスよく高めることの重要性
- ・体力アップ(体づくり、パワーアップ)と、技術や戦術の向上、試合での勝利との関連
- ・パワーの意味と、パワーアップするための筋力アップの必要性
- ・筋力トレーニングをプレーに活かす

- ・体幹(コア)を鍛えることの重要性
- ・筋力バランスとけがの予防について

○ 実技講習内容

1. 上半身のトレーニング

- (1) ウェイトを利用したトレーニング  
正しい姿勢について・安全な実施方法・トレーニングの効果についての説明と実技・目標の設定方法  
実技実施種目：①ベンチプレス  
②アームカール  
③リストカール
- (2) その他のトレーニング  
自体重を利用したトレーニング・二人組でのトレーニング  
実技実施種目：①プッシュアップ  
②シーテッドロウ



「上半身のトレーニング・ベンチプレス」

2. 下半身のトレーニング

- (1) ウェイトを利用したトレーニング  
正しい姿勢について・安全な実施方法・トレーニングの効果についての説明と実技・目標の設定方法  
実技実施種目：スクワット
- (2) 自体重トレーニング  
実技実施種目：①ワイドスタンドスクワット  
②サイドスクワット  
③ヒップリフト  
④フォワードランジ



「スクワットの正しい姿勢の指導の様子」



「下半身のトレーニング・スクワット」

3. 体幹のトレーニング

- 体幹のトレーニングを行う目的
- ①姿勢指示能力の向上
  - ②パワーの伝達能力の向上

③ケガの予防

- (1) 基本エクササイズを紹介  
実技実施種目：①シットアップ  
②ツイスティングシットアップ  
③クランチ  
④リバースクランチ  
⑤バックエクステンション  
⑥ダイアゴナルバックエクステンション
- (2) メディシンボールを使ったエクササイズを紹介  
実技実施種目：①メディシンボールシットアップ  
②メディシンボールサイドスロー  
③スタンディングトランクツイスト
- (3) スタビリティーエクササイズを紹介  
実技実施種目：①プロローン  
②サイドブリッジ  
③ボックススタビリティ



「体幹トレーニング・オーバーヘッドスロー」

4. 体幹のエクササイズ

- (1) バランスボール  
バランストレーニングの効果と、バランスボールを使うときの注意点の説明  
実技実施種目：①ポンピング  
②体側のリラクゼーション  
③シットイング・バランス  
④ヒップリフト  
⑤アブ・アクティベーター  
⑥アブコントロール  
⑦ワイドアームリーチ  
⑧スピリッツストレッチ
- (2) ストレッチボール  
ストレッチボールの効果と実施上の注意点の説明  
実技実施種目：①背中の状態チェック  
②基本姿勢  
③胸のストレッチ  
④外転運動  
⑤肩甲骨運動  
⑥揺らぎ運動  
⑦歪みチェック  
⑧足上げ



「体幹のエクササイズ・バランスボール」

5. ストレッチング

ストレッチングの意味、目的と効果についての説明

- (1) ダイナミックストレッチング  
ダイナミックストレッチング(動的ストレッチング)の特徴と効果についての説明  
実技実施種目：①肩と肘のストレッチング  
②アームスイング  
③レッグスイング
- (2) スタティックストレッチング



スタティックストレッチ(静的ストレッチ)の特徴と効果についての説明

#### <1>セルフストレッチ

- 実技実施種目: ①ももの後ろ側(ハムストリング)  
②股関節の前側(腸腰筋)  
③腰背部  
④おしり(臀筋群)  
⑤ももの前側(大腿四頭筋)  
⑥ももの内側(内転筋群)  
⑦ももの外側(大腿筋膜張筋)

#### <2>ペアストレッチ

- 実技実施種目: ①ももの後ろ側(ハムストリング)  
②おしり(臀筋群)  
③腰背部  
④ももの前側(大腿四頭筋)  
⑤股関節の前側(腸腰筋)  
⑥ももの内側(内転筋群)  
⑦ももの外側(大腿筋膜張筋)



「ペアストレッチ」

#### 6. メンタルトレーニング

8つの基本的な心理スキルについての説明

- ①目標設定 (Goal Setting)
- ②リラクゼーションとサイキングアップ
- ③イメージ
- ④集中力
- ⑤プラス思考(ポジティブシンキング)
- ⑥セルフトーク
- ⑦コミュニケーション
- ⑧試合に対する心理的準備

実技実施種目

リラクゼーション = 心のストレッチ

サイキングアップ = 心のウォーミングアップ



「メンタルトレーニング講義の様子」

#### ○ 閉会式

第48回高校スポーツ強化普及振興協議会に参加して  
(参加者感想文より)

慶応義塾高校 陸上競技部 松岡 慶一郎

私は今回この強化普及振興協議会で普段の練習に必要なものを学んだ。それは主にメンタル面の強さとストレッチの重要性の二つである。

まず一つ目のメンタル面の強さとは、普段のストレッチや練習の時に対する気持ちである。ストレッチやアップなどのメニューは練習や試合でも必ずする行動である。自分は、このストレッチやアップの際何も考えずに淡々とやっていた。だがここから一流の選手や強豪校の選手

達とは違っていたのだ。一流の選手達は、毎日のアップなどから気持ちを切り替え、今日は何のメニューをやる、最後までやりきる、など最初のメニューから試合を想定するなどしてメンタルの強化を行っていたのだ。このような部分が自分には著しく欠けていたと思う。そのため試合で思ったように結果が出ず、悔しいままでシーズンを終わってしまうことがあった。これからは、しっかりとした結果が出せるよう、毎日の練習から気持ちを切り替えていきたい。

二つ目はストレッチの重要性である。これは言うまでもなく日々の積み重ねであると思う。ストレッチは部活だけでなく普段の日常生活でも出来るので、これからは部活前後や家でストレッチを行い、怪我をしない選手になりたいと思う。私は普段の練習を見つめ直した時、強い選手になるため要素がいくつか欠けていたことが分かった。それを今回の強化普及振興協議会で学ぶことができると感謝している。今後この協議会で学んだことを活かし大会で良い成績を出せるようこれから努めていきたいと思う。

三浦学苑高校 サッカー部 梶 駿史

今日の神奈川県高校スポーツ強化普及振興協議会に参加して筋力トレーニングの正しい行い方やメンタルトレーニングなど多くの種類の講習を受けて、とても参考になりました。

最初の有賀先生の講義では、心技体について、なぜ体幹が必要なのかどのように使われているかなど、自分はこの講義受けるまで全く理解ができませんでした。しかし、講義を受けて体幹の重要性などが分かりました。例えば、正しい姿勢をキープしやすくなる、怪我予防に役立つと言った2つの重要性を思い出しながら、仲間にも教え、体幹トレーニングに取り組みたいと思います。

次に今回の講習の中で一番楽しみにしていたメンタルトレーニングについてです。今日の講習を受ける前にメンタルトレーニングの本を読んでから受講しました。その中で、一番気になっていたのは、プラス思考についての講義でした。試合中ミスした時の声のかけ方、なるべくマイナスな気持ちにならないための声のかけ方などを学びました。自分はいつも相手がマイナスの気持ちになる声のかけ方をしていました。だから、プラスの言葉で相手の気持ちを切り替えさせる、取り組む姿勢を変えて気持ちをポジティブにさせる、チームにプラス思考を伝染させるなど、ミスをしていてもマイナスの気持ちにならないような声のかけ方を学んだので、練習からチームにプラス思考を伝染させて、みんなで日常生活からプラス思考を実行していきたいと思っています。今回のような講習に参加させてもらいとても良い経験になりました。次も参加したいです。



「ストレッチポールを使ったエクササイズ」

県立多摩高校 野球部 岡野 将也

今回高校スポーツ強化普及振興協議会に参加して、感想は「参加して良かった。」ということです。

最初はどんな事をするのか不安だったし、教えてくれる人たちもどんな人なんだろうと思っていました。でも、始まるととてもとても楽しくて、さらに勉強になりました。上半身では、ベンチプレスの正しい補助の仕方から、器具が無い時の筋トレ方法などを教えてもらいました。下半身では、スクワットの正しい姿勢や、多方向ランジを教えてもらい、頭を使いながら楽しくできました。スポーツ動作を高めるトレーニングでは、新しいトレーニ

ングの方法を見つける事が出来ました。体幹エクササイズでは、ストレッチポールとバランスボールを使って、普段鍛えられない部分を鍛えられたり、体の歪みを改善する事が出来ました。ストレッチは音楽に合わせてリラックスして行う大切さを知ることができました。メンタルトレーニングでは、これからの試合で活かすことができる話を聞くことができました。今まで使い方が分からなかった道具や、行っている理由が分からなかった事が、今回の協議会を通して理解することができたので良かったです。また、今回色々なことを教えてもらった東海大学のみなさんが、とても優しく丁寧に接してくれておかげで楽しく学ぶことができました。今まで部でやってきていたものは再確認することができ、違っていたものはこれから改善して、よりよい部活動ができるようにしていきたいです。そして、来年、再来年と神奈川県の高校のスポーツ強化に貢献できるように一生懸命頑張っていきたいです。

県立柏陽学校 野球部 木村 浩斗

今回東海大学での講習でまず大きく変わったのはメンタル面です。自分は秋の大会で投げることができませんでした。それは自分の準備や心の持ち方が全くなっていなかったからだと思います。今回のメンタルトレーニングで、心の準備や気持ちの持ち方を知ることができました。そしてこれからは、いつでも笑顔でいることと、試合に出ているということは期待されていると、自信を持つことを意識してプレーしたいと思っています。メンタル面で変えようと思ったことは、もう1つあります。自分は秋の大会後の親善リーグでも緊張し焦り、何が何だか分からなくなってしまいました。次に自分がそのような状況になったら、積極的に声をかけ、語尾を上げて明るくプレーし落ち着きたいと思っています。

筋力トレーニングでは東海大の学生スタッフの方たちにたくさん声をかけてもらって、楽しくトレーニングすることができました。個人的には下半身の筋力トレーニングの時に、もう少しウェイトの重い物を使って行うトレーニング方法を学びたいです。上半身のトレーニングではベンチプレスを行いました。柏陽高校野球部ではベンチプレスはやらないので全く挙がらず悔しかったです。説明の際、ベンチプレスをやると球速が上がるのと聞いたので、自主練の時にやろうと思いました。今回スクワットをやるときの怪我の原因が分かったので、これから姿勢に注意してやっていきたいと思っています。この講習を受けられて本当に良かったです。

県立柏陽高校 バasketボール部 若林 雄大

私はこの講習会を通じて、トレーニングに対しての意識や気持ちが変わったと思います。普段、部活などでやっているトレーニングとは違うものを教わったり、体験したりするのがとても新鮮で楽しかったです。例えば、私たちが一番始めにやったストレッチポールやバランスボールのトレーニングなどは部活ではやっていなかったりするので、とても楽しかったとともに普段やらない動きで結構難しく感じました。このトレーニングで姿勢が大事だということが分かりました。部活でストレッチポールやバランスボールを買ってトレーニングするのは難しいと思うので、普段の練習中で姿勢を意識していこうと思います。また、一番印象深かった講習はメンタルトレーニングです。このトレーニングでリラクゼーション&サイキングアップとプラス思考について教わったので、これらを練習中はもちろん普段の生活でも意識していこうと思いました。試合前は特に公式戦など大事な試合でリラクゼーションやサイキングアップはとても効果的だと思いました。これら以外のメンタルトレーニングもやった方がいいと思ったので頑張ろうと思います。

また、下半身や上半身のトレーニングでいつも部活でやっているのが間違っているということが分かったことがとても勉強になりました。今後は、間違っていた所や前述したように勉強になったところを意識していき、それを自分の中だけでとどめずに、チームのみんなに教えて貢献したいと思いました。



「下半身のトレーニング・サイドスクワット」

県霧が丘高校 ハンドボール部 朱山 遼

今回は、高校スポーツ強化普及振興協議会という貴重な体験ができて良かった。自分は前から細かいトレーニングがしたかったので、今回のような上半身や下半身など分かれてトレーニングができて、すごく自分のためになった。まず最初に受けたのは、メンタルトレーニングでそこでは普段の生活からポジティブに考えることや、プレッシャーを乗り切る方法を教えてもらった。自分は大切な試合になると極度に緊張して足が震える時があるので今回話を聞くことができて次から活かそうと思った。

次に受けたのはストレッチで、1人でもできるストレッチなどを教えてもらった。

朝食をはさんで下半身のトレーニングから始まり、主にスクワットを中心にトレーニングをした。少し膝が痛くて辛かったが何とか乗り切れて良かった。

次は上半身のトレーニングで、ベンチプレスを中心にトレーニングをした。あまりベンチプレスには自信がなくて、40kgは3回挙げられればいいやと思っていたけれど、学生スタッフの方たちの応援や周りの人に負けたくないという気持ちから、15回も挙げる事が出来て嬉しかった。

次は体幹トレーニングで、バランスボールなどを使って体幹を効率よく鍛えることが出来た。

最後に受けたのは、スポーツ動作を高めるトレーニングで、学校でもよく使っているメディシンボールを使ってトレーニングをした。全部を振り返ると、だいたい1人や2人組で出来るトレーニングや学校で出来るものが多かった。今回教えてもらったトレーニングを学校でも活かしていきたいと思った。

県立霧が丘高校 陸上競技部 井上 雅貴

今日の講習会では、自分の足りないところを知り、大会などで自分はどのようなコンディション、メンタルで挑んでいるのかがよく分かりました。

最初に講習で受けたのはアップのストレッチとダウンのストレッチで、練習前と練習後で使い分けを覚えることが出来ました。

次はメンタルの講習でした。自分は大会の時プラス思考でいれているということが分かりとても安心しました。更に大会で集中とリラクセスする方法を学び、早速来シーズンで実践したいと思っています。

次は上半身のトレーニングをしました。ベンチプレス・プッシュアップ・アームカールの正しいフォームを教えてもらい、正しいフォームでやったところ負荷のかかり方が全然違い、使っている筋肉を意識しながら出来るようになりました。そして40kgのベンチプレスを持ち上げたところ重くてなかなか挙げられなかったので自主練の時に引き上げられるようになりたいです。

次は下半身のトレーニングをしました。メインはスクワットで大学生の方が工夫をして教えてくださり楽しく正しいフォームを学ぶことが出来ました。

次はスポーツ動作のパワーを高める運動して素早い切り返しを意識したり、跳ねる時の足の接地時間を短くするなどしっかり意識してやりました。

最後はバランスと体幹トレーニングです。この講習が一番自分のためになりました。バランスや体幹は短距離でもとても大切で、今までどうでも良いと思っていたこともありましたが、今はその大切さに気づくことができて、毎日コツコツとこの講習で教わった事を行い、心・技・体をさらに向上させます。

○スポーツ医科学サポート事業

- ・加盟校巡回指導
  - 7月5日 平塚学園 メンタルトレーニング
  - 7月5日 県新羽 トレーニング実技
  - 8月27日 市横浜商 メンタルトレーニング
  - 11月9日 県柏陽 栄養学講義
  - 12月12日 鶴見大附 スポーツ障害の講義
  - 12月12日 県座間 スポーツ選手の講演
  - 12月12日 県厚木北 メンタルトレーニング
  - 12月15日 横浜創英 メンタルトレーニング
  - 1月30日 県大和 栄養学講義
  - 2月24日 県伊志田 栄養学講義

- ・指導者研修会
  - 11月8日 県立スポーツ会館 「メンタルトレーニング」
  - 講師 高妻 容一先生 (東海大学体育学部教授)
  - 参加者 50名



高妻 容一 先生

調査研究委員会

委員長 吉川 正保 (県住吉)

年度末のお忙しい中、お願いいたしました。「部活動に対する生徒の意識調査」平成25年度一年生対象アンケートは恐れ入りますが、3月20日(木)までに事務局へご返信ください。

公立高校80校、各校2クラス80名ほどの1年生にアンケートを依頼しています。公立入試や諸々の状況変化の中で中学生から高校1年生に進学した生徒の意識がどのように変化し、運動部活動への関わりに影響を与えているかの問題点をも探りたいと考えています。

アンケート協力についてあらためて調査研究一同より、御願ひ申し上げます。

さて、全国高体連がインターハイとの2本柱として位置付け、内容の充実を図っている第48回全国高体連研究大会が、1月16日(木)から岐阜県長良川国際会議場で開催されました。「輝き・感動・無限に広がるスポーツの力」～部活動で育む、たくましい心と体～という大会主題のもと、(公財)全国高校体育連盟会長 小野 力氏(現横浜平沼高校校長)のさわやかな挨拶とともに始まり、本県高体連安全対策委員会 川上 智一氏(現柔道専門部)の発表も好評のうちに終え、(公財)日本サッカー協会副会長 田島 幸三氏の「海外選手のアピールの重要性や協会の取り組み(目標ではなく、あえて約束!)」という有意義な内容の講演をもって、盛況のうちに終了いたしました。来年度は、徳島県での開催が予定されています。ぜひ、ご注目ください。

※全国高体連研究部では、個人での研究も受け付ける用意があります。また、「課題研究」として研究補助費が支給される発表もあります。ぜひ、興味関心のある方は全国高体連のホームページをご覧ください。

広報委員会

広報委員会では、会報60号の表紙につきましてご報告いたします。

今回は体操専門部より全国高校総体体操男子ゆかで優勝しました県岸根の白井 健三君が表紙を飾ることになりました。ここでは、竹内輝明先生からの寄稿文を掲載します。

県岸根高校 体操部顧問 竹内 輝明

岸根高校体操部は、本年創部10周年、そして10年連続インターハイ出場の節目を迎え、女子団体ではこれまでの最高位である5位入賞を果たすことが出来ました。

2年生の白井健三君は、2013年10月5日、ベルギーアントワープ市で開催された世界選手権に於いて日本体史上最年少の金メダリストに輝きました。県予選を勝ち抜いて、インターハイ、全日本予選を通過し世界選手権に出場。毎日がチャレンジの高校生でした。4月には、ゆかの演技が終わると息を切らせてフラフラしていましたが、夏のインターハイでは何とか演技のまとまりが出せるようになりました。そして、世界選手権と1年間で素晴らしい成長をみせました。

今後、更にオールラウンダー選手として切磋琢磨し、高校3年生の逞しさを身に付けた選手としてリーダーシップを発揮し、神奈川県に勇気と元気を与えてくれることを期待しています。

これまで、御指導、ご支援を賜りました多くの方々に感謝申し上げますとともに、今後も引き続き見守って頂きますよう御願ひ申し上げます。

平成25年度全国総体冬季大会成績

種 目	成 績	
	男 子	女 子
歌伝(12/23) 於: 吉原総合運動公園陸上競技場	25位 藤沢翔陵	9位 窪田 11位 白鷗女子
フグビー(12/27~1/7) 於: 近鉄花園フグビー場	2位 桐蔭	
7人制サッカー(1/23~26) 於: 創路市創路7人制サッカー場	武相 慶応	
フレイム(1/21~24) 於: 三沢アイスアリーナ	個人 11位 中野 耀司(横浜創英) 30位 関口 隼佑(武相) 32位 梅田 輝(日大) 35位 志田 一朗(武相)	29位 鈴木 星佳(慶応藤沢) 37位 鈴木 美桜(慶応藤沢) 89位 井上 華凜(神奈川総) 129位 猪川乃絵(桐蔭) 135位 岩水 若葉(横浜雙葉) 142位 河口 優希(横浜創英) 148位 岩永美和子(横浜雙葉) 158位 辻本 路子(横浜清陵総)
	学校対抗 12位 横浜創英 25位 武相 27位 日大	10位 慶応藤沢 69位 神奈川総 98位 横浜雙葉 104位 桐蔭 114位 横浜創英 125位 横浜清陵総
氷上(2/4~8) 於: 猪苗代 rinko 場 他	回転 55位 杉本 泰輔(三浦臨海) 71位 山崎 光(桐蔭) 74位 西川 蘭丸(桐蔭中等) 97位 須原 健太(慶応) DNF 石渡 健(慶応)	55位 土井 桃花(自修館) 85位 松岡 瑞季(相模原) DNS 明賀 香奈(相模女子) DNF 川本 莉愛(相模女子) # 草野 桃子(相模女子)
	大回転 36位 石渡 健(慶応) 62位 島村 隆矩(法政二) 105位 百瀬 彬洗(聖光学院) 162位 柳 慎志(慶応) DNF 須原 健太(慶応)	91位 松岡 瑞季(相模原) DNS 明賀 香奈(相模女子) DNF 川本 莉愛(相模女子) # 土井 桃花(自修館) # 草野 桃子(相模女子)

問い合わせ先  
 神奈川県高等学校体育連盟  
 電 話 045(311)8817  
 FAX 045(313)2669  
 E-mail kotairen@pastel.ocn.ne.jp  
<http://www.kanagawa-kotairen.gr.jp>